

【報告 2】平成 28 年度青森市総合防災訓練の結果について

1. 訓練目的

防災訓練は、災害対策基本法及び青森市地域防災計画に基づき、防災関係機関・団体と地域住民の参加・連携のもとに、大地震を想定した各種訓練を行い、災害の予防、応急対策等の防災活動が迅速、的確かつ総合的に実施できるよう訓練するとともに、防災体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的に実施した。

平成 28 年度においては、青森市津波避難計画及び青森市地域防災計画（風水害等対策編、地震・津波対策編）の内容を検証するものとし、市職員をはじめ、指定管理者、災害時応援協定締結事業者、町会、町内会、自主防災組織等の地域住民参加型の避難所開設運営訓練として実施した。

2. 災害想定

【青森地区】

- (1) 平成 28 年 10 月 1 日（土）午前 9 時 00 分、青森湾西岸断層帯（入内断層）を震源とする地震が発生。本市内は震度 5 強の揺れを観測し、陸奥湾沿岸部に津波警報が発表される。
- (2) 市は、陸奥湾沿岸部の津波避難対象地域住民に対し、避難指示を発令。
- (3) 浅虫地区への第 1 波津波到達時間は発災から 11 分後、3.1m の津波が到達し、国道 4 号線を越え、青い森鉄道線路付近まで浸水。

【浪岡地区】

- (1) 浪岡地区では、数日前からの大雨により、土砂災害警戒情報が発表されているなか、平成 28 年 10 月 1 日（土）午前 9 時 00 分、青森湾西岸断層帯（入内断層）を震源とする地震が発生。
- (2) 市は「土砂災害警戒判定メッシュ情報」等において土砂災害の危険度が高まっているとして本郷地区の住民に対し、避難指示を発令。
- (3) 地域住民は、収容避難所である「本郷小学校」へ避難を実施。

3. 訓練状況

- (1) 開催日時 平成 28 年 10 月 1 日 9 時～12 時
- (2) 参加者数 330 人（青森地区 250 名 浪岡地区 80 名）
- (3) 実施場所 青森〈浅虫〉地区
浪岡〈本郷〉地区

(4) 訓練内容

【青森地区】

- 情報伝達訓練（青森・浪岡共通）
 - ・市職員を対象とする緊急連絡網を活用した情報伝達訓練
- 災害広報訓練
 - ・広報車による災害広報訓練
- 避難所開設運営訓練
 - ・健康福祉部による避難所開設及び運営訓練
- 福祉避難所開設運営訓練
 - ・健康福祉部及び福祉避難所の確保に係る協定締結事業者による避難所（福祉避難所）開設及び運営訓練

- ・健康づくり推進課による健康相談
- 津波避難ビルへの住民等の避難訓練
- 防災資機材・生活支援物資輸送訓練
 - ・災害時応援協定を締結している業者との備蓄物資等の輸送訓練
- ライフライン応急復旧訓練
 - ・災害時応援協定を締結している業者による電気、電話、ガス等の応急復旧訓練
- 救急救命訓練
 - ・日本赤十字社青森県支部による救急救命指導
- 炊き出し訓練
 - ・自衛隊による炊き出し訓練
- 自主防災組織訓練
 - ・自主防災組織による避難・避難誘導等各種訓練
- 給水訓練
 - ・水道部の給水車による給水訓練
- 倒壊家屋等からの救出・救護訓練
 - ・自衛隊による救出・救護訓練
- 装備品展示
 - ・自衛隊による人命救助システム機器展示
- 避難者移送訓練
 - ・交通部のバスによる避難者移送訓練
- 消防車両展示
 - ・災害時に使用する支援車等の展示・解説
- 警戒区域の交通規制
 - ・警察による交通規制警戒活動
- 海上巡視訓練
 - ・青森海上保安部による浅虫沿岸部の海上巡視訓練

【浪岡地区】

- 情報伝達訓練（青森・浪岡共通）
 - ・市職員を対象とする緊急連絡網を活用した情報伝達訓練
- 災害広報訓練
 - ・同報系防災行政無線による情報伝達訓練
- 避難・避難誘導訓練
 - ・町内会による避難及び避難行動要支援者の避難誘導訓練
- 現地対策本部設置訓練
 - ・浪岡地区における現地対策本部設置訓練
- 避難所開設運営訓練
 - ・浪岡事務所健康福祉課、浪岡教育事務所教育課、学校、町内会による避難所開設及び運営訓練
- 防災資機材操作習熟訓練
 - ・参加者による各種備蓄防災資機材の操作習熟訓練
- 給水訓練
 - ・水道部上下水道課の給水車による給水訓練
- 救急救命訓練
 - ・浪岡消防署員による救急救命指導
- 炊き出し訓練
 - ・参加者による炊き出し訓練
- 警戒区域の交通規制
 - ・警察による交通規制警戒活動
- 災害救助犬による行方不明者捜索訓練
 - ・災害時応援協定を締結している業者による災害救助犬の行方不明者捜索訓練